



平成27年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年4月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 コスモス薬品

コード番号 3349 URL <http://www.cosmospc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宇野 正晃

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

(氏名) 柴田 太

TEL 092-433-0660

四半期報告書提出予定日 平成27年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第3四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成27年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	302,941	11.3	12,118	9.4	13,626	5.7	8,158	0.9
26年5月期第3四半期	272,076	12.8	13,374	14.7	14,451	14.8	8,087	13.6

(注) 包括利益 27年5月期第3四半期 8,170百万円 (1.0%) 26年5月期第3四半期 8,086百万円 (13.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年5月期第3四半期	412.04	
26年5月期第3四半期	408.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第3四半期	162,473	61,523	37.9
26年5月期	142,700	54,399	38.1

(参考) 自己資本 27年5月期第3四半期 61,523百万円 26年5月期 54,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年5月期		25.00		30.00	55.00
27年5月期		27.50			
27年5月期(予想)				27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	419,000	12.7	16,800	0.6	18,300	0.6	10,600	0.0	535.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期3Q	20,000,400 株	26年5月期	20,000,400 株
期末自己株式数	27年5月期3Q	200,761 株	26年5月期	200,761 株
期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期3Q	19,799,639 株	26年5月期3Q	19,799,741 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済成長を目指した政府の各種施策により一部の業種に景況感の改善が見られるものの、実質所得は減少し消費者の節約志向はますます強くなっており、特に、地方の生活においては政府の経済政策の恩恵をあまり感じられず、日常生活の必需品を販売する小売業にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって「安くて、近くて、便利なドラッグストア」を目指して力を注いでまいりました。具体的には、「良い商品を1円でも安く」というコンセプトのもと「安さ」を追求し、消費者のご自宅の「近く」に新たな店舗を次々と出店することで、日常生活に必要なものが「便利」に買える店づくりを行ってまいりました。

新規出店につきましては、関西地区に5店舗、中国地区に9店舗、四国地区に5店舗、九州地区に34店舗の合計53店舗を開設いたしました。また、スクラップ&ビルドにより3店舗を閉店いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は627店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,029億41百万円（前年同四半期比11.3%増）、営業利益は121億18百万円（同9.4%減）、経常利益は136億26百万円（同5.7%減）、四半期純利益は81億58百万円（同0.9%増）となりました。

なお、当社グループは事業区分が単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,624億73百万円となり、前連結会計年度末に比べて197億72百万円増加いたしました。この主な要因は、有形固定資産が171億54百万円、商品が42億63百万円増加し、現金及び預金が31億65百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は1,009億49百万円となり、前連結会計年度末に比べて126億48百万円増加いたしました。この主な要因は、買掛金が32億72百万円、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が84億1百万円増加し、未払法人税等が21億9百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は615億23百万円となり、前連結会計年度末に比べて71億23百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の連結業績予想につきましては、平成26年7月11日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の見込支払日までの平均期間を基礎とする方法からデュレーションアプローチへ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1億42百万円減少し、利益剰余金が92百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,302	18,136
売掛金	17	18
商品	31,146	35,409
貯蔵品	115	140
その他	4,515	5,704
流動資産合計	57,097	59,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,739	59,186
土地	9,557	11,111
その他(純額)	9,850	16,003
有形固定資産合計	69,147	86,301
無形固定資産		
	679	544
投資その他の資産		
敷金及び保証金	10,614	10,961
建設協力金	3,480	3,536
その他	1,681	1,719
投資その他の資産合計	15,776	16,217
固定資産合計	85,603	103,064
資産合計	142,700	162,473
負債の部		
流動負債		
買掛金	66,844	70,117
1年内返済予定の長期借入金	1,228	3,516
未払法人税等	4,426	2,317
店舗閉鎖損失引当金	86	18
その他	8,776	11,500
流動負債合計	81,362	87,469
固定負債		
長期借入金	1,480	7,593
退職給付に係る負債	517	417
資産除去債務	1,422	1,434
その他	3,518	4,034
固定負債合計	6,938	13,480
負債合計	88,301	100,949

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,178	4,178
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	45,899	53,011
自己株式	△236	△236
株主資本合計	54,451	61,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	11
退職給付に係る調整累計額	△60	△51
その他の包括利益累計額合計	△52	△40
純資産合計	54,399	61,523
負債純資産合計	142,700	162,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
売上高	272,076	302,941
売上原価	219,203	245,750
売上総利益	52,873	57,190
販売費及び一般管理費	39,498	45,072
営業利益	13,374	12,118
営業外収益		
受取利息	72	70
受取手数料	352	405
不動産賃貸料	432	607
固定資産受贈益	131	146
その他	382	672
営業外収益合計	1,370	1,902
営業外費用		
支払利息	37	39
不動産賃貸原価	208	299
その他	47	54
営業外費用合計	294	393
経常利益	14,451	13,626
特別利益		
補助金収入	—	582
特別利益合計	—	582
特別損失		
固定資産除却損	55	30
店舗閉鎖損失	27	38
店舗閉鎖損失引当金繰入額	46	6
特別損失合計	129	75
税金等調整前四半期純利益	14,321	14,133
法人税等	6,234	5,974
少数株主損益調整前四半期純利益	8,087	8,158
四半期純利益	8,087	8,158

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,087	8,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	2
退職給付に係る調整額	—	8
その他の包括利益合計	△0	11
四半期包括利益	8,086	8,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,086	8,170

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は医薬品・化粧品等の小売業という単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

商品区分別売上状況

(単位：百万円、%)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)		(参考) 前期 (自平成25年6月1日 至平成26年5月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
医薬品	44,867	16.5	48,001	15.8	60,516	16.3
化粧品	31,496	11.6	33,069	10.9	42,761	11.5
雑貨	46,092	16.9	51,825	17.1	62,670	16.8
一般食品	144,933	53.3	165,243	54.6	199,517	53.7
その他	4,687	1.7	4,800	1.6	6,359	1.7
計	272,076	100.0	302,941	100.0	371,825	100.0